

令和元年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	第2有隣ホーム		施設番号	K 085
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和2年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
利用者の施設での生活が楽しくなるような取り組みについて	「外出の機会を増やしてほしい」「行事がもっとあるとよい」という要望が利用者から上がっている。	ボランティアの来説を増やす。外出の機会を増やす。	1 実施済み ② 実施予定(令和 2年 10月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 一部未実施 (令和3年 4月 現在) 具体的には以下のとおりです。 入所者の外出の機会は、散歩などを増やすことである程度確保することができた。 しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ボランティアの来説は完全に制限せざるを得ず、令和3年度に継続とする。
地域との連携について	施設と地域の連携をさらに深めいくことが望ましい。	入所者やスタッフと地域住民との交流の機会を増やす。	1 実施済み ② 実施予定(令和 2年 11月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 未実施 (令和3年 4月 現在) 具体的には以下のとおりです。 新型コロナウイルス感染拡大の影響により入居者と地域住民との交流を確保することはできなかった。 令和3年度に継続とする。
経営基盤の安定について	職員の定着率の向上による経営基盤の安定確保が望ましい。	職場環境の改善による働きやすい介護現場の実現。常勤職員と非常勤職員との比率の見直し見直しによる人件費の抑制	① 実施済み 2 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 見守りセンサーを導入し、特に夜勤帯の職員の負担軽減を図った。 退職した常勤職員2名の代わりに非常勤職員を2名採用した。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。